

しなののうた

常ならば煩く鳴ける蝉声の八月に入り漸く聞こゆ



杉田小百合

しなののうた

蝉しぐれ聞けば盛夏と覚ゆるも煩く鳴くは過去になりしか

杉田小百合



しなののうた

蝉しぐれいまだ聞かざり盆迎ふ
気候変動気に揉む今夏



杉田小百合

しなののうた

ジイジイとなく油蟬一頻り絞り鳴く声忽然と消ゆ

杉田小百合



しなののうた

寺庭にまだ温かきかの落ち蝉の羽根艶艶と生あるごとし



杉田小百合